

新清水庁舎 建設検討通信

現在、再整備計画を進めている清水庁舎の検討状況について、今後定期的にお知らせしていくためのニュースレターです。ぜひお手にとってお読みください。

清水庁舎の基本理念・方針を提示しました

12月13日(水)に第4回目となる「新清水庁舎建設検討委員会」を開催しました。

会議では、前回意見をいただいた内容に基づき「基本理念・基本方針」の案を再提示し、意見をいただきました。

◆基本理念・基本方針案（案）

基本理念(案)

市民に開かれたコンパクトな庁舎

～港町の歴史と自然に向き合いながら
「清水のまちづくり」を未来へリードする～



清水区民の 行政サービスの拠点

経済性に優れ
誰もが訪れやすく
使いやすい庁舎



清水区の 防災拠点

人やまちを守り
様々な災害に対応する庁舎

基本方針(案)



清水区の まちづくりの拠点

人と人、人とまち、
まちとまちがつながる庁舎

清水庁舎は、まず第一に行政サービスを提供するとともに、行政の使命である、市民の皆さんの命、暮らし、そしてまちを守るという役割を持ちます。

清水は古くから港と海によって賑わい、発展してきており、海とともに生きてきた反面、津波等の災害リスクは避けられません。

これらの歴史と自然に向き合いながら未来へのまちづくりを進めるにあたり、清水区に置く庁舎は、災害に強い防災拠点でありながらも、まちづくりの拠点であることが重要であると考えています。

そこで、この庁舎が、市民の皆さんが様々な活動を行うためのきっかけづくりの場となるとともに、職員がまちに飛び出し「人」や「まち」と積極的に関わりを持ち、市民と協働して清水のまちを創っていくことを目指します。

※この案をもとに、今回の検討委員会でいただいた意見をさらに取り入れながら、最終的な案を作成していきます。

◆再整備の手法と建設場所についての市案を提示しそのプロセスを比較検証しました

静岡市が、清水駅東口公園への移転建て替えが望ましいと判断したプロセスについて、整備方法はライフサイクルコストや市民サービスの観点から、建設場所については都市ビジョンとの整合、敷地面積・許容容積、費用負担などの観点から比較検証しました。議論は第5回検討委員会にも継続され、委員から提案された比較方法を加えて再提示することとなりました。

今後の進捗予定について

- 第5回 新清水庁舎建設検討委員会 平成30年1月24日(水) 10:00～12:00 清水庁舎313会議室
どなたでも傍聴が可能です。直接会場へお越しください。

開催状況については、議事録等を各区役所に設置するほか、ホームページにも掲載していますのでそちらも併せてご覧ください。

清水庁舎のあり方についてのホームページ http://www.city.shizuoka.jp/153_000031.html